



創造的復興

復興期

復旧期

初動期

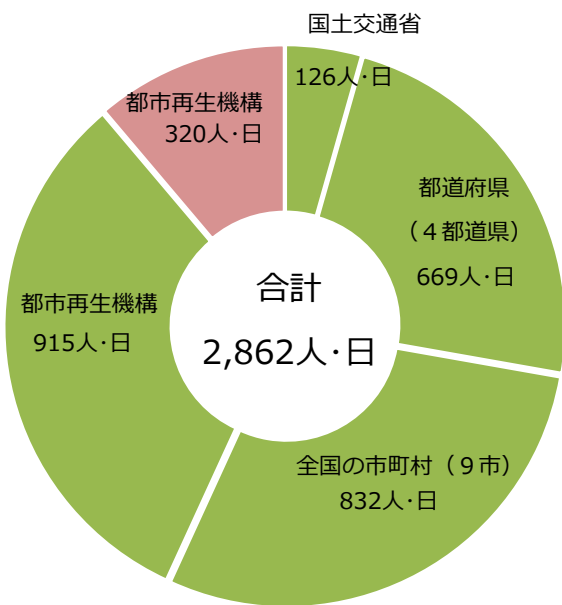
東日本大震災

資料編

資料 1 他都道県からの応援派遣職員

仮設住宅支援，下水道災害調査に係る応援派遣職員数（平成 23 年初動期）

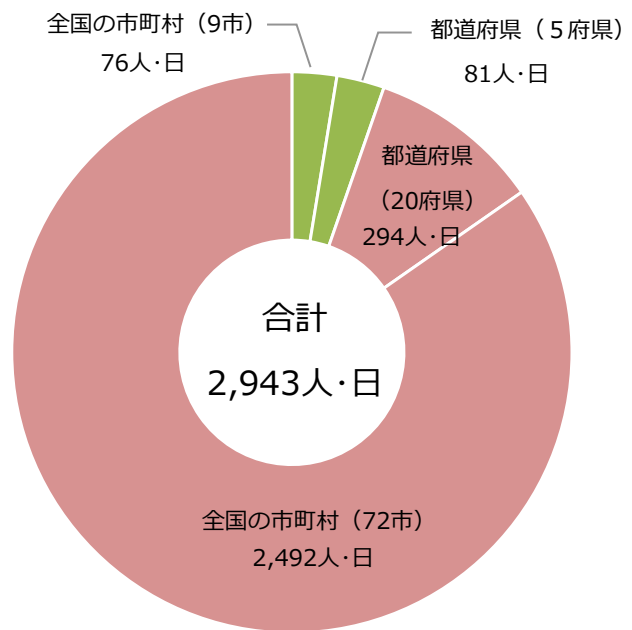
仮設住宅支援



■ 宮城県への支援 ■ 市町村への支援

(平成 23 年 3 月～7 月) 単位：延べ人数 (人・日)

下水道災害調査

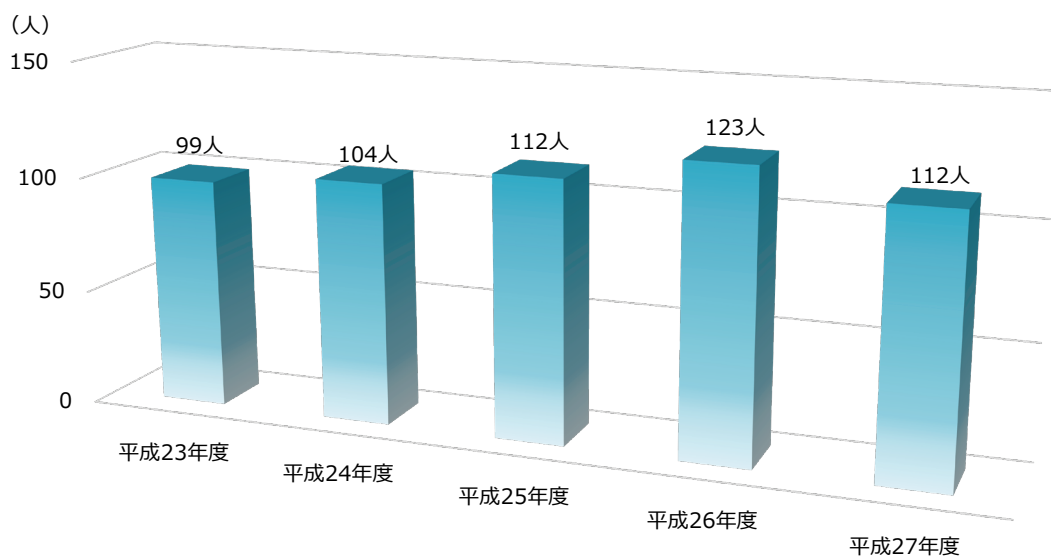


■ 宮城県への支援 ■ 市町村への支援

(平成 23 年 3 月～5 月) 単位：延べ人数 (人・日)

災害復旧に係る他都道県からの地方自治法に基づく応援派遣職員数

年度別応援派遣職員数



都道府県別応援派遣職員数

(人)

派遣元	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	計
北海道	10	6	10	10	9	45
秋田県	14	15	14	10	8	61
山形県	7	4	5	5	5	26
群馬県			2	2	2	6
埼玉県		2	4	6	8	20
千葉県		1	1	2	2	6
東京都	20	12	7	11	11	61
神奈川県		1	2	5	3	11
新潟県	1	1		3		5
富山県	4	3	4	4	4	19
石川県	3	4	4	4	4	19
福井県	5					5
山梨県		2	1	1		4
岐阜県		4	4	4	4	16
愛知県	4	5	7	6	5	27
三重県		2	2	3	2	9
兵庫県	6	8	7	5	4	30
奈良県		1	3	3	3	10
鳥取県	1	1	5	5	5	17
島根県			2	1	1	4
山口県		2	1		1	4
徳島県	5	4	6	6	6	27
香川県			1	1	1	3
愛媛県	3	3	3	2	2	13
高知県		2	1	1	2	6
福岡県	4	5	3	8	5	25
佐賀県	4	4	3	2	3	16
熊本県	7	7	4	4	4	26
大分県	1	2	2	3	3	11
宮崎県		1	2	3	2	8
鹿児島県		1	2	2	2	7
沖縄県		1		1	1	3
計	99	104	112	123	112	550

資料2 国・県・土木部の5年間の歩み

平成22年度

国・宮城県全体のトピックス

3月

- 11日：東北地方太平洋沖地震発生
(14時46分)
最大震度7，マグニチュード9.0
- 11日：第1回宮城県災害対策本部会議 **1**
(15時30分)
知事より，津波で甚大な被害が出ているので，人命救助，情報収集に全力を挙げると指示がありました。
- 11日：東京電力福島第一原子力発電所半径2km以内の避難指示 (20時50分)
- 11日：くしの歯作戦開始 (22時50分)
国土交通省東北地方整備局で内陸部にある東北道・国道4号から東西方向の救命，救援ルートを確認する「くしの歯作戦」を被災直後から開始しました。
- 12日：東北地方太平洋沖地震の誘発地震と見られる長野県北部地震が発生
マグニチュード6.7，長野県栄村で最大震度6強を観測しました。
- 13日：緊急災害対策派遣隊による調査を開始 **2**
国土交通省東北地方整備局で，TEC-FORCEとして約200名の東北地整以外の職員が被災状況の調査を開始しました。
- 14日：東京電力福島第一原子力発電所3号機水素爆発 (11時01分)
- 17日：国土交通省が仙台空港北側で排水作業を開始
- 19日：トモダチ作戦開始
「トモダチ作戦」として，仙台空港において米軍，国土交通省，自衛隊，県，空港による共同運用調整所を管理事務室に発足し，日米合同救援活動を開始しました。
- 28日：県内の死者が6,455人となり，阪神・淡路大震災の死者6,434人を超える

土木部のトピックス

- 11日：土木部災害対策本部を設置
(14時46分)
非常災害対策本部の部局別構成機関として，土木部長を本部長とする土木部災害対策本部を県庁8階土木部会議室に設置し，情報収集を直ちに開始
- 11日：土木事務所における道路通行規制の開始 (15時30分)
仙台土木事務所，気仙沼土木事務所において，大津波警報による道路通行規制を開始しました。
- 11日：第1回土木部災害対策本部会議 **3**
(16時20分)
- 11日：宮城県建設業協会に要請
(22時50分)
各避難所へ発電機，燃料の搬送を要請しました。
- 12日：日本土木工業協会東北支部へ要請
(0時30分)
緊急物資受け入れのため，津波浮遊コンテナ等の津波漂流物撤去を要請しました。
- 12日：宮城県建設業協会の各支部に要請
(0時30分)
内陸部にある仙南，大崎，栗原，登米の宮城県建設業協会の各支部に対し，沿岸部への応援を要請しました
- 14日：プレハブ建築協会へ仮設住宅建設を要請
仮設住宅10,000戸の建設を要請しました。
- 16日：被災地における災害応急対策を優先するため，工事の一時中止について周知
- 21日：塩釜港石油専用栈橋に2,000kl積み石油輸送船が初入港
- 28日：応急仮設住宅の建設に着手



1 第1回災害対策本部会議の様子



2 緊急災害対策派遣隊による調査を開始
(国土交通省東北地方整備局資料)



3 土木部災害対策本部会議の様子

平成23年度

国・宮城県全体のトピックス

4月

- 7日：宮城県沖を震源とする余震が発生
マグニチュード7.1、県内では最大余震となる最大震度6強を観測しました。
- 16日：仙台市ガス局の都市ガス復旧工事終了（仙台市の津波被災地域除く）
国土交通省東北地方整備局で、TEC—FORCEとして約200名の東北地整以外の職員が被災状況の調査を開始しました。
- 14日：宮城県震災復興本部を設置し、第1回宮城県震災復興本部会議を開催
- 25日：東北新幹線の仙台～福島間運転再開
仙台～東京間の直通運転が可能となりました。
- 27日：天皇皇后両陛下が南三陸町・仙台市を御訪問 **1**
- 29日：東北新幹線が仙台～一関で運転再開 **2**
全線が復旧しました。

土木部のトピックス

- 1日：仙台塩釜港及び石巻港における一般船舶の利用を再開
- 4日：国土交通省東北地方整備局で国道45号の二十一浜橋（気仙沼市）を応急組立橋による応急復旧完了 **3**
- 7日：仙台港における自動車運搬船の定期航路を再開
- 11日：仙台港にフェリーが名古屋港から震災後初入港（仙台～名古屋間）
- 13日：仙台空港で国内臨時便が震災後初就航 **4**
- 16日：仙台港から完成自動車の積み出しを震災後初出港 **5**
- 28日：塩竈市で県内初となる仮設住宅への入居を開始 **6**

**1** 被災地に黙礼される両陛下**2** 震災後運転再開した東北新幹線**3** 国道45号の二十一浜橋（気仙沼市）応急復旧（国土交通省東北地方整備局資料）**4** 仙台空港を出発する臨時第一便**5** 仙台港から震災後初出港となる完成自動車の積み出し**6** 塩竈市伊保石地内に完成した仮設住宅

平成 23 年度

国・宮城県全体のトピックス

5月

- 2日：第1回宮城県震災復興会議（県庁）
- 20日：「東日本大震災に対処するための追加予算措置等を求める要望書」を菅内閣総理大臣あて提出
- 21日：中国の温家宝首相、韓国の李明博大統領が来県

6月

- 1日：地方自治法による派遣職員辞令交付 **7**
- 4日：皇太子同妃両殿下が岩沼市・山元町を御訪問 **8**
- 20日：政府で「東日本大震災復興基本法」成立
- 24日：政府が「東日本大震災復興対策本部宮城現地対策本部」を設置
- 25日：政府の東日本大震災復興構想会議が「復興への提言」を決定
- 27日：秋篠宮同妃両殿下が気仙沼市を御訪問 **9**



7 地方自治法派遣職員辞令交付式の様子



9 気仙沼市長から被害状況の説明を受けられる秋篠宮同妃両殿下

土木部のトピックス

- 10日：公共土木施設第1次災害査定（～12日）
（6班体制，全110件）
- 10日：被災建築物応急危険度判定を完了
（12市18町，危険5,200件，要注意7,553件，調査済37,968件，合計50,721件）
- 19日：被災宅地危険度判定を完了
（3市7町，危険886件，要注意1,470件，調査済1,640件，合計3,996件）
- 1日：県発注工事等の特例措置を実施
（特別簡易型の導入，入札保証金の緩和，現場代理人の常駐緩和，数値的判断基準の見直し）
- 8日：仙台港における内航フィーダーコンテナ航路を再開
- 8日：東部土木事務所向陽町分庁舎を開設
- 13日：アメリカ土木学会が被災地を現地調査
- 25日：仙台港エリア復興記念イベント「マルシェ・ジャポン in 仙台港」を開催（～26日） **10**



8 避難している方々に言葉をかけられる皇太子同妃両殿下



10 復興記念イベントの様子

平成23年度

国・宮城県全体のトピックス

7月

- 7日：「仙台・宮城伊達な旅復興キャンペーン」スタート
- 13日：「宮城県震災復興計画（案）」のパブリックコメントを開始（～2日）
- 16日：東北六魂祭が開催される（～17日）¹¹
- 19日：トヨタ自動車が県内へのエンジン工場新設など「東北の復興支援策」を発表
- 29日：政府で「東日本大震災からの復興の基本方針」を決定

8月

- 1日：自衛隊の県内での支援活動が終了¹⁴
- 6日：仙台七夕まつりが開催（～8日）
- 10日：県内初の事業用仮施設（しおがま・みなと復興市場）が完成
- 17日：「宮城県震災復興計画（最終案）」を公表
- 23日：ジョセフ・バイデン米国副大統領が来県
- 26日：宮城県震災復興計画（案）を公表



11 東北六魂祭のイベントの様子



13 国内定期便再開の式典の様子

土木部のトピックス

- 1日：津波で被災した東部土木事務所の修理が完了し、東部土木事務所で業務を再開
- 6日：石巻港の岸壁、荷さばき地の応急復旧が完了
- 11日：石巻港の日和7号岸壁に大型貨物船が震災後初入港¹²
- 25日：公共土木施設第11次災害査定（～29日、6班体制、全210件）
- 25日：仙台空港の国内定期便・国際臨時便が運航再開¹³

- 1日：公共土木施設第12次災害査定（～5日、5班体制、全172件）
- 2日：第2回宮城県港湾戦略ビジョン策定委員会を開催
- 8日：公共土木施設第13次災害査定（～12日、5班体制、全185件）
- 11日：仙台港エリア復興イベント「with LIGHT UP NIPPON」「マルシェ・ジャポン in 仙台港」を開催（～14日）
- 29日：公共土木施設第15次災害査定（～2日、5班体制、全143件）
- 30日：復興道路となる三陸沿岸道路（県内では三陸縦貫自動車道）の全ルートが決定



12 石巻港に震災後初入港した様子



14 自衛隊撤収式の様子

平成 23 年度

国・宮城県全体のトピックス

9月

- 5日：「宮城県サポート支援センター支援事務所」開設
- 12日：「東京電力福島第一原子力発電所事故対策みやぎ県民会議」設立
- 16日：日本製紙石巻工場が生産を再開
- 17日：野田首相が気仙沼市を視察
- 20日：台風 15 号で記録的豪雨 **15**
総雨量：石巻市雄勝 532.5mm・女川 452.5mm・名取 332.0mm
- 26日：石巻合同庁舎，気仙沼合同庁舎が移転
- 29日：知事が宮城県産の新米の安全宣言を発表

10月

- 15日：「復興へ頑張ろう！みやぎまるごとフェスティバル 2011」開催（～16日）
- 18日：県議会で「宮城県震災復興計画」を承認
- 28日：東日本大震災復興特別区域法を閣議決定

土木部のトピックス

- 1日：第2回被災三県土木部長会議を岩手県で開催
- 5日：仙台港高砂コンテナターミナルのガントリークレーン 1/4 基目の供用を再開
- 9日：宮城県沿岸における海岸堤防高さの設定について公表
- 15日：仙台港で日本初となる 45 フィートコンテナの第一船出航 **16**
- 25日：仙台空港ターミナルビルが完全復旧し，国際定期便（仙台～ソウル便）再開 **17**
- 26日：みやぎ 45 フィートコンテナ物流特区の総合特区を国に指定申請
- 30日：仙台港における国際定期コンテナ航路（中国／韓国）を再開

- 1日：仙台空港アクセス鉄道の全線運行再開 **18**
- 2日：仙台空港で国際定期便（仙台～グアム便）再開
- 18日：津波で落橋した新北上大橋及び定川大橋の仮橋を供用開始 **19**
- 24日：「宮城県社会資本再生・復興計画」を策定し公表
- 24日：応急仮設住宅の寒さ対策追加工事に着手



15 品井沼遊水地越流状況
(大崎市鹿島台字下志田地内)



16 ガントリークレーンで荷役される
45 フィートコンテナ



17 仙台空港ビル完全復旧・国際定期便就航記念式典の様子



18 仙台空港アクセス鉄道再開の様子



19 新北上大橋仮橋の様子

平成23年度

国・宮城県全体のトピックス

11月

- 2日：キリンビール仙台工場が震災後初出荷
- 7日：震災の影響で4月から延期されていた宮城県議会議員選挙を告示
- 12日：復興屋台村気仙沼横丁がオープン
- 14日：「宮城県産業復興相談センター」開設
- 19日：震災後初の県産イチゴの出荷開始

12月

- 1日：「みやぎの心のケアセンター」開設
- 2日：「2011 SENDAI 光のページェント」開催（～31日）
- 7日：東日本大震災復興特別区域法が成立
- 26日：東日本大震災復興特別区域法を施行
- 27日：宮城産業復興機構が発足
- 30日：県内の全避難所が閉鎖

土木部のトピックス

- 4日：応急仮設住宅が全戸分完成 20
15市町 22,042戸が完成しました。
- 11日：被災市街地復興特別措置法に基づく被災市街地復興推進地域を都市計画決定（気仙沼市，名取市，女川町，南三陸町）
- 14日：地震で被災した志田橋の通行止め解除 21
- 19日：三陸道登米志津川道路の志津川トンネルで「復興道路着工式」を開催 22
- 23日：気仙沼市の要請で応急仮設住宅の建設を追加着手（6団地 53戸）
- 24日：「みやぎ県北高速幹線道路」第1期区間を全線供用開始 23
- 25日：復興道路会議～宮城県～
- 6日：仙台港高砂コンテナターミナルのガントリークレーン2/4基目の供用を再開
- 20日：知事が仮設住宅における寒さ対策を現地確認（石巻市万石浦仮設住宅）
- 21日：「宮城県復興住宅計画」を策定し公表
- 26日：気仙沼市の要請で建設した応急仮設住宅が全戸完成（6団地 53戸）



20 応急仮設住宅の全景



21 通行止め解除直後の志田橋



22 復興道路着工式の様子



23 みやぎ県北高速幹線道路開通式の様子

平成 23 年度

国・宮城県全体のトピックス

1月

- 4日：みやぎ被災者聴覚障害者情報支援センター開設
- 10日：野田首相が来県し、石巻市の水産加工会社や仮設住宅を視察 24
- 27日：宮城県民間投資促進特区を県内34市町村と共同申請
- 31日：東京電力福島第一原子力発電所事故被害対策基本方針を策定
- 31日：国に復興交付金事業計画（第1回）を提出



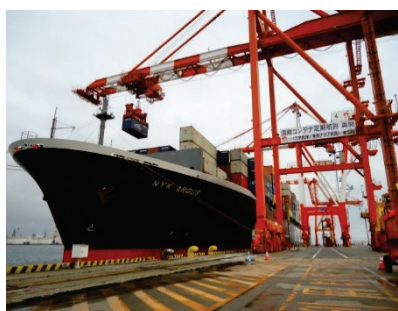
24 水産加工会社視察の様子



26 大島架橋事業着手式の様子

土木部のトピックス

- 11日：国内初となる45フィートコンテナ輸入を仙台港において開始
- 13日：仙台港高砂コンテナターミナルのガントリークレーン3/4基目の供用を再開
- 15日：応急仮設住宅の寒さ対策追加工事が完成
401団地、21,572戸について追加工事が完成しました。
- 22日：仙台港における北米西岸／東南アジアコンテナ航路を再開 25
- 27日：気仙沼地区の復興のシンボルとなる大島架橋事業に着手 26
- 29日：公共土木施設第29次災害査定（～27日、1班体制、全9件）
公共土木施設災害査定完了しました（全29次、5,908件）。
- 29日：直轄代行となる仙台湾南部海岸堤防復旧に着手 27
- 30日：第1回宮城県統合港湾長期構想委員会を開催
仙台塩釜港、石巻港、松島港が一体となった港湾としての長期構想及び港湾計画素案について検討しました。



25 コンテナ積み卸しの様子



27 仙台湾南部海岸堤防復旧着工式の様子

平成23年度

国・宮城県全体のトピックス

2月

- 10日：復興庁が発足
 仙台市に宮城復興局，石巻市・気仙沼市に2支所が設置されました。
- 17日：石巻市，名取市，岩沼市，山元町，女川町で復興整備協議会を設置し開催

3月

- 1日：国から復興交付金可能額通知（第1回）が発表
- 11日：県は県庁・大河原合庁・大崎合庁に献花台と記帳所を設置 **28**
 発生時刻の14時46分に黙祷を捧げました。
- 24日：災害廃棄物処理（亘理処理区）の焼却炉で県内初の火入れ **29**
- 26日：津波避難のための施設整備指針を津波対策連絡協議会で承認
- 28日：「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」を策定し公表
- 30日：災害廃棄物処理（名取処理区）の焼却炉で県内2番目の火入れ
- 30日：復興整備計画の公表
 （石巻市，名取市，岩沼市，山元町，女川町）

土木部のトピックス

- 6日：「3.11 東日本大震災復興・復興パネル展」を開催（17日まで）
- 9日：「東日本大震災社会資本再生・復興シンポジウム」を開催し，土木部の取組を一般聴講者に報告
- 15日：「公共土木施設等復旧方針」を策定し公表
- 21日：災害公営住宅の整備について被災市町と協定締結（東松島市，亘理町）
- 3日：津波で甚大な被害を受けた大曲海岸の堤防復旧に着手 **30**
- 9日：「3.11 伝承・減災プロジェクト」に着手 **31**
 津波浸水表示板を県内の公共施設に設置開始
- 21日：「宮城県社会資本・再生復興計画緊急アクションプラン」を策定し公表
- 22日：「東北地方太平洋沖地震による建築被害報告会」を開催
 一般聴講者に県内の建築被害を報告
- 23日：集団移転促進事業が全国初で決定
 石巻市，岩沼市で復興整備協議会を開催
- 25日：国際定期便（仙台－上海経由北京線）再開 **32**
- 26日：第2回復興道路会議～宮城県～
- 27日：第2回宮城県統合港湾長期構想委員会を開催

仙台塩釜港，石巻港，松島港が一体となった港湾としての長期構想及び港湾計画素案について検討しました。

**28** 宮城県庁での黙祷の様子**29** 亘理処理区の焼却炉全景**30** 大曲海岸災害復旧着工の様子**31** 津波浸水表示板設置の様子**32** 運航再開の記念式典の様子

国・宮城県全体のトピックス

4 月

4 日：第 2 回東日本大震災復興交付金事業計画を提出

356 事業 789 億円に上る復興交付金事業を沿岸部 15 市町と内陸部 5 市町の計 20 市町（うち 15 市町は県と共同）で事業計画を復興庁（宮城復興局）へ提出しました。

5 日：国会で平成 24 年度一般会計予算成立

第 180 回国会で一般会計予算が成立し、復興経費として 3 兆 7,754 億円が予算化されました。

17 日：災害廃棄物処理業務（亘理名取ブロック（岩沼処理区））で火入式を開催

焼却施設が完成したことから、業務期間内の安全を祈願するため、火入式を執り行いました。

19 日：復興整備協議会を開催

石巻市の復興整備協議会において、防災集団移転促進事業等に関する協議を行いました。

23 日：災害廃棄物処理業務（亘理名取ブロック（山元処理区））焼却開始式を開催

焼却施設の一部が完成したことから、業務期間内の安全を祈願するため、焼却開始式を執り行いました。

24 日：第 1 回宮城県災害廃棄物処理対策協議会市町村長会を開催

平成 24 年 3 月に災害廃棄物処理業務連携推進協議会を設置し、沿岸市町での協力体制を確立したところであるが、県内市町村長で県的な処理推進を図るため会議を開催しました。



1 村井知事から辞令交付



2 多賀城駅東側の状況



3 4 車線化工事着工式

土木部のトピックス

1 日：仙台－長春線のチャーター便を運航

中国南方航空が仙台－長春線のチャーター便を震災後初運航しました。

2 日：平成 24 年度自治法派遣職員へ辞令交付 1

28 都道県から派遣された 104 名の自治法派遣職員へ 4 月 1 日付で村井知事から辞令が交付されました。

2 日：不動産鑑定評価の情報提供

県の災害復旧・復興事業の用地を取得するため、一括発注した不動産鑑定評価 136 地点の結果を沿岸 15 市町に対して情報提供を行いました。

4 日：災害公営住宅の整備戸数の見直し

整備戸数：約 12,000 戸（17 市町）を約 15,000 戸（21 市町）に見直しました。

8 日：仙石線多賀城地区連続立体交差事業高架切替記念式典を開催 2

J R 仙石線多賀城駅周辺は、下り線の高架切替を行うことで、4 箇所踏切遮断が解消され、多賀城駅周辺のスムーズな交通の流れが確保されるようになりました。

16 日：三陸沿岸道路仙塩道路 4 車線化着工式開催 3

仙塩道路の 4 車線化着工式を国土交通省東北地方整備局が開催しました。この道路は東北縦貫自動車道、仙台東部道路、仙台南部道路、仙台北部道路と一体となって、仙台都市圏の経済・産業基盤を支える道路になります。

25 日：仙塩浄化センター下水処理開始式を開催

仙塩浄化センターの復旧は、STEP 3「水質改善期 II」に移行し、生物処理が可能となり、震災前の 50% の能力まで復旧しました。

28 日：高砂コンテナターミナルガントリークレーン 3 号機の供用再開

ガントリークレーン全 4 基が完全復旧し、複数の船舶が同時に着岸する場合などに、より効率的な荷役が可能となりました。

29 日：仙台空港臨空公園の開園

約 1 ヘクタールの園内に遊具広場や芝生広場を備え、展望スペースからは迫力ある飛行機の離発着が観察できるようになりました。

平成24年度

国・宮城県全体のトピックス

5月

7日：常磐線の復旧に関する覚書の締結

本県、山元町及び東日本旅客鉄道株式会社仙台支社は、東日本大震災により被災した常磐線の早期復旧を図るため、復旧事業の実施に関する基本的な事項を定めた覚書を締結しました。

12日：天皇后両陛下が仙台市を御訪問
(～13日) 4

天皇后両陛下が仙台市で開催される第14回 IACIS 国際会議開会式に御臨席され併せて東日本大震災の被災者を御訪問されました。

13日：災害廃棄物処理業務
(石巻ブロック) 火入式の開催 5

焼却施設の一部(焼却炉5基中の1基)が完成したことから、業務期間内の安全を祈願するため、火入式を執り行いました。

15日：みやぎスマートシティ連絡会議の設置

再生可能エネルギーを活用しながら現代社会や地域を取り巻く諸課題を解決し、かつ、再生から更なる発展へつながる地域づくりを目指すため、沿岸各市町と県が連携してより具体的な検討を行うことを目的に連絡会議を設置し、第1回会議を開催しました。

15日：復興庁復興推進委員会との意見交換会を開催 6

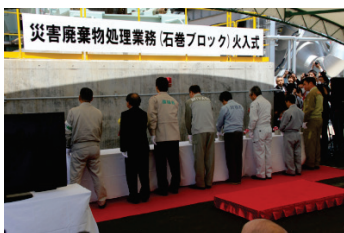
復興推進委員会(五百旗頭真委員長他)が来県され、県と震災復興の取組・課題等について意見交換を行いました。

25日：第2回東日本大震災復興交付金交付可能額を通知

復興庁から1,704億円(申請額789億円)に上る復興交付金可能額が通知されました。



4 仮設住宅の住民からの奉迎の様子



5 災害廃棄物処理業務(石巻ブロック)火入式



6 復興庁復興推進委員会との意見交換会

土木部のトピックス

1日：任期付職員へ辞令交付

復旧・復興事業を速やかに実施することによる一時的な業務量の増加に伴い、職員の不足が見込まれるため、任期の定めのある土木部任期付職員へ辞令が交付されました。

17日：中国／韓国航路(外貿定期コンテナ航路)が新たに1便就航 7

中国／韓国航路、北米航路、韓国航路(釜山港)とあわせて、外貿コンテナ航路は、4航路週4便となり、ほぼ震災前の水準に回復しました。

17日：河川・海岸の復旧高さや復旧スケジュールをホームページで公開

見える復興見せる復興の取組として、河川・海岸の復旧方法の具体的な位置や堤防高さ、復旧スケジュール、完成後のイメージ図等をホームページで公開しました。

21日：仙台-ソウル線のデイリー運航再開

アジア航空の仙台-ソウル線は、震災前と同じ毎日1日往復の運航となりました。

21日：第1回宮城県復興道路連絡調整会議を開催

復興道路・復興支援道路である三陸沿岸道路と宮城県北高速幹線道路の早期完成を図るため、関係機関で用地取得や遺跡調査等、整備に関する課題について、意見交換を行いました。

23日：第1回建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会を開催

復旧・復興工事の建設資材不足等の対策について、国土交通省東北整備局、農林水産省東北農政局及び東北森林管理局、仙台市、関係団体等で意見交換し、情報共有を図りました。

26日：津波防災シンポジウムを開催

「歴史が伝える津波、歴史にしていける津波」というテーマのもと開催したシンポジウムには、約250名の参加者が集まりました。

26日：国道113号館矢間バイパスが開通

丸森大橋の供用開始にあたり、国道113号館矢間バイパス開通式が開催され、全線開通を祝いました。



7 中国／韓国航路再開式典

平成 24 年度

国・宮城県全体のトピックス

6月

11日：北九州市長の来県及び意見交換

本県の災害廃棄物の処理受け入れに向け検討いただいている北九州市長と知事が意見交換を行いました。

12日：「みやぎ県民防災の日」総合防災訓練を実施

東日本大震災等の災害経験をもとに、今後も起こり得る大規模地震・津波等に備えるため、震災対策推進条例に定めるみやぎ県民防災の日（6月12日）に合わせ、災害対策本部と防災関係機関等が一体となった訓練を行いました。

12日：復興推進計画（IT特区）に認定

東日本大震災復興特別法に基づく復興推進計画（IT特区）認定を受けた仙台市・石巻市・気仙沼市・白石市・名取市・多賀城市・登米市・栗原市・東松島市・大崎市・亶理町・利府町・大和町・富谷町・大衡村・女川町・南三陸町（17市町村）に78箇所の復興産業集積区域を設定しました。

13日：ベルギー王国皇太子妃が来県 8

ベルギー王国マチルド皇太子妃が来県し、県庁で高校生と交流し、村井知事に表敬訪問しました。

19日：東日本大震災に対処するための緊急要望

知事が東日本大震災に対処するための予算措置等を求める要望書を野田内閣総理大臣あて提出しました。

26日：第3回東日本大震災復興交付金事業計画を提出

168事業 900億円に上る復興交付金事業を沿岸部13市町と内陸部3市町の計16市町（うち8市町は県と共同）での事業計画を復興庁（宮城復興局）へ提出。

土木部のトピックス

1日：「東日本大震災1年の記録」、「東日本大震災 職員の証言（想い）」を発行

今後の災害対策への活用を図るため、震災発生時等の対応、震災発生時の証言（想い）などを取りまとめ、記録誌を発行しました。

1日：平成24年度宮城県港湾復興大会を開催

宮城県港湾協会が主催、国会議員や宮城県議会議員の皆様をはじめ、港湾関係団体等約400名が一堂に会する熱気あふれる大会となりました。

4日：石巻港 災害復旧工事着工式を開催 9

本格的な災害復旧工事の着手にあたり、災害復旧工事着工式を執り行いました。

7日：菖蒲田海岸災害復旧工事着工式を開催

本格的な災害復旧工事の着手にあたり、災害復旧工事着工式を執り行いました。

8日：第1回みやぎ復興住宅整備推進会議を開催

住宅・まちづくりに関する情報の交換・共有を図るため、みやぎ復興住宅整備推進会議を開催しました。

27日：気仙沼市と都市再生機構（UR）が協力協定を締結

気仙沼市と独立行政法人都市再生機構（UR）は、東日本大震災の被災地域における復興まちづくりに関する覚書と協力協定を締結しました。

29日：夢メッセみやぎ復旧完了 10

東北最大級の屋内展示場である夢メッセみやぎは、甚大な被害を受けるも早期の復旧活動をすすめて、完全復旧の運びとなりました。



8 ベルギー王国皇太子妃が来県



9 石巻港着工式



10 夢メッセみやぎ

平成24年度

国・宮城県全体のトピックス

7月

3日：野田首相が来県し、村井知事と意見交換 **11**

野田首相が「世界防災閣僚会議 in 東北」に出席されるため本県に来県し、知事と会談しました。そのなかで、知事から「東日本大震災に対処するための予算措置等を求める要望書」と「平成25年度国の施策・予算に関する提案・要望書」を提出しました。

14日：災害廃棄物処理業務（宮城東部ブロック）火入式の開催

焼却施設が完成したことから、業務期間内の安全を祈願するため、火入式を執り行いました。

20日：村井知事が北九州市長を訪問

知事が北九州市長を訪問し、災害廃棄物の広域処理についての御礼とともに意見交換を行いました。

23日：復興推進計画「宮城県民間投資促進特区（農業版）」を認定申請

新たな農業法人の設立や民間企業との連携による経営の大規模化、生産力の拡大と高付加価値化による収益性の高い農業を実現させ、沿岸部における雇用の創出と地域経済・社会の復興につなげるため復興庁へ認定申請しました。

27日：石巻ブロックの災害廃棄物を仙台市へ搬出開始

仙台市から受入表明をいただいた石巻ブロックの災害廃棄物の処理について、仙台市の災害廃棄物の処理と並行して処理を開始しました。

**11** 野田首相と村井知事の意見交換**12** 仙台松島道路4車線化**13** 宮城スタジアム**14** 事業認可交付式**15** 仙台-長春便再開記念式**16** 花洲山トンネル貫通式

土木部のトピックス

12日：仙台松島道路4車線化を供用開始 **12**

三陸自動車道の仙台松島道路（宮城県道路公社管理）において施工中の4車線化工事が進み、利府中ICと松島海岸ICが供用開始となりました。

13日：宮城スタジアム屋根応急改修・災害復旧工事が完了 **13**

宮城スタジアムは、地震により屋根が破損しておりましたが、約一年の工期をもって改修工事が完了しました。

18日：宮城県災害公営住宅整備指針ガイドラインを策定

災害公営住宅の整備の基本的な考え方や地域特性に配慮した取組を示し、快適で良好な居住空間を被災された方々に提供することを目指した指針を策定しました。

19日：女川町復興まちづくり基本協定調印式を開催

復興まちづくり事業を協働して推進するための基本協定を、女川町とUR都市再生機構が締結しました。

20日：石巻市新蛇田地区被災市街地復興土地区画整理事業認可交付式を開催 **14**

県内初となる石巻市新蛇田地区被災市街地復興土地区画整理事業について事業認可しました。

30日：中国南方航空による仙台-長春線を再開 **15**

仙台-長春線の再開により、仙台空港の国際定期便の路線は、震災前と同じ6路線・7都市につながり全線再開となりました。

30日：花洲山トンネル貫通式を開催 **16**

国土交通省の権限代行事業として進んでいた国道108号花洲山バイパス事業において、花洲山4号トンネル（全長1,385m）の掘削が完了し、貫通式が行なわれました。

平成 24 年度

国・宮城県全体のトピックス

8月

2日：被災市町支援のための宮城県任期付職員を募集

県内の沿岸被災市町に任期付職員を派遣するため、県で募集を開始しました。

20日：被災5市町の首長が村井知事と意見交換

東日本大震災で大きな被害を受けた沿岸5市町（石巻市、気仙沼市、東松島市、女川町、南三陸町）は、震災復興に関わる共通の課題を共有し、政府への働きかけなどを強めるため、「宮城県東部沿岸大規模被災市町連携会議」を発足させました。

20日：JR気仙沼線においてBRTによる暫定運行開始 17

津波により甚大な被害を受け運休が続く気仙沼線（柳津駅～気仙沼駅間）の仮復旧として、沿線の高等学校の2学期開始に合わせ、BRT（バス高速輸送システム）による暫定運行を開始しました。

21日：みやぎの復興現場訪問事業を開始 18

東日本大震災からの復興に前向きに取り組んでいる企業や団体などを知事が訪問する「みやぎの復興現場」訪問事業を開始しました。

23日：福島県知事が村井知事を表敬訪問

福島第一原発事故に伴う避難者受け入れなど、東日本大震災からこれまでの支援に対する御礼を伝えるため、佐藤雄平福島県知事が村井知事を表敬訪問されました。

土木部のトピックス

5日：岩沼市玉浦西地区防災集団移転促進事業着工式を開催 19

岩沼市玉浦西地区において防災集団移転促進事業が全国第一号として着手されました。

8日：仙台松島道路「春日パーキングエリア完成式」開催 20

仙台松島道路の利府中IC～松島海岸IC間の利府町春日地内に本格的なパーキングエリアが建設され、完成式が開催されました。

30日：第2回みやぎ復興住宅整備推進会議を開催

宮城県災害公営住宅整備指針ガイドライン、宮城県災害公営住宅設計標準などについて、関係機関で意見交換等を行いました。

31日：戸倉海岸災害復旧工事 着工式を開催 21

東日本大震災で被災した気仙沼本吉地域の建設海岸において、本復旧工事がスタートしました。

8月下旬：平成25年度の自治法派遣職員の継続要請及び東日本大震災からの現状を報告 22

宮城県土木部は、復旧・復興事業の業務量増大に対応するため、全国28都道府県から1,000名以上の派遣職員の応援を頂いており、これまでの応援に対する御礼と、来年度もマンパワー不足が見込まれることから引き続き派遣して頂けるようお願いしました。また、3.11伝承・減災プロジェクトの一環として、東日本大震災からの復旧・復興状況と教訓を伝えました。



17 BRTによる暫定運行開始



18 村井知事が企業・団体を訪問する様子



19 造成工事着工式



20 春日 PA 完成式



21 計画堤防の丁張設置



22 徳島県庁にて報告

平成24年度

国・宮城県全体のトピックス

9月

10日：ニュージーランド首相が知事を表敬訪問 23

ニュージーランドのジョン・キー首相が宮城県庁を訪れ、知事を表敬訪問しました。

10日：北九州市へ災害廃棄物の海上輸送開始

石巻市で発生した災害廃棄物（可燃物）について、処理を一部引き受けていただく北九州市に向け、9月10日から海上輸送が始まりました。

15日：災害廃棄物処理業務（南三陸処理区）火入式の開催

焼却施設が完成したことから、業務期間内の安全を祈願するため、火入式を執り行いました。

18日：宮城県応急仮設住宅契約事務センターを開設

県が借り上げた民間賃貸住宅の再契約（期延長）専用の事務センターが本格稼働しました。

22日：G9東日本大震災復興支援セレモニーの開催

世界のトップシェフで構成する食の首脳会議G9（グループ・ナイン）のメンバーにより、東日本大震災で被災した宮城、福島、岩手の食材生産者等を支援するための復興支援セレモニーが開催されました。



23 ニュージーランド首相が知事を表敬訪問



24 着工式の様子



25 事業認可書交付式の様子

土木部のトピックス

8日：三陸自動車道「石巻北インターチェンジ」及び「県道石巻北インター線」着工式開催 24

国と県の共催で着工式を開催。石巻北ICと石巻北インター線は、国道398号石巻バイパスと接続し整備するものです。

10日：震災復興に伴う盛土材連絡調整会議を開催

復旧・復興事業における盛土材の安定確保に向けて、県及び沿岸15市町からなる連絡調整会議を設置し、土取場の確保や広域的な需給調整を行いました。

「女川町荒立・陸上競技場跡地被災市街地復興土地区画整理事業」事業認可書交付式を開催 25

平成24年3月に女川町被災市街地復興土地区画整理事業（226.4ha）が復興整備事業として計画に位置づけられ、同町荒立（あらだて）地区と陸上競技場跡地地区について、事業認可しました。

18日：石巻東部浄化センター下水処理開始式を開催

水処理施設の第1系列復旧に伴い震災前と同様の生物処理を開始。これにより、県内の下水処理場の全てにおいて生物処理が再開されることになりました。

29日：女川町復興まちづくり着工式を開催 26

7月19日に女川町とUR都市機構との間で復興まちづくり事業の協定が締結され、コンストラクションマネジメント方式を導入し、土地区画整理事業では津波被災地で初めての工事着工となりました。



26 着工式での鉄入れの様子

平成 24 年度

国・宮城県全体のトピックス

10 月

4 日：ロンドンオリンピック卓球日本代表の福原愛選手に宮城県特別表彰授与 27

ロンドンオリンピックの卓球女子団体で銀メダルを獲得した福原愛選手が知事を表敬訪問し、宮城県特別表彰が授与されました。

13 日：第 25 回全国健康福祉祭ねりんピック宮城・仙台 2012 (16 日まで) 28

本県での東日本大震災後初の全国規模の大会となる「ねりんピック宮城・仙台 2012」が開催されました。総合開会式は、常陸宮同妃両殿下に御臨席を賜るとともに、出演者・ボランティアなど多くの皆さんの御協力により盛大に執り行われました。

17 日：第 4 回東日本大震災復興交付金事業計画を提出

1,585 事業 7,726 億円に上る復興交付金事業を沿岸部 15 市町と内陸部 4 市町の計 19 市町（うち 15 市町は県と共同）での事業計画を復興庁（宮城復興局）へ提出

18 日：第 1 回宮城県被災者復興支援会議を開催 29

被災者の復興を早期に果たすため、被災者支援に取り組む団体、有識者、行政等が一堂に参加した第 1 回宮城県被災者復興支援会議が開催されました。

25 日：指定廃棄物最終処分場等に係る市町村長会議を開催

放射性物質汚染対処特措法に基づき、事故由来放射性セシウムによる汚染状態が 8,000Bq/kg を超える廃棄物の処理について、県内に最終処分場が必要であることへの理解を得るとともに、処分場等の設置に係るプロセスのあり方など、国への要望等について県と市町村で意見交換を行いました。

土木部のトピックス

1 日：東部土木事務所分庁舎の閉鎖

東部土木事務所の道路建設第三班及び道路建設第四班は、これまで向陽町分庁舎で業務を行っていましたが、平成 24 年 10 月 1 日から東部土木事務所内（別棟）に移転しました。

17 日：定川河川災害復旧工事着工式を開催 30

東日本大震災で被災した石巻市及び東松島市の定川において、本復旧工事を着工しました。

17 日：女川湾口防波堤災害復旧工事着工式を開催 31

女川港石浜地区において、女川町と共催で女川湾口防波堤の災害復旧工事着工式を執り行いました。

17 日：仙台塩釜港、石巻港、松島港の統合一体化の区域変更同意 32

東北をけん引する中核的国際拠点港湾の実現を目指し、仙台塩釜港、石巻港、松島港の統合一体化に取り組んできたところ、10 月 17 日付けで仙台塩釜港の港湾区域変更の同意と港湾法施行令の改正がなされました。

23 日：建設業団体及び市町村との意見交換会を開催（～11 月 2 日まで）

膨大な復旧・復興事業等の円滑な施工確保を図るため、宮城県建設業協会各支部会員、非会員、市町村との意見交換を実施した。



27 福原愛選手が村井知事を表敬訪問



28 常陸宮同妃両殿下の御臨席の様子



29 宮城県被災者復興支援会議の様子



30 着工式の様子



31 着工式の様子



32 同意書の授与

平成24年度

国・宮城県全体のトピックス

11月

27日：事故繰越の手続き簡素化の通知

国の復興推進会議において、平成23年度補正予算で措置された事業について、事故繰越手続きの簡素化を行うことについて合意されました。

30日：復興交付金第4回交付可能額通知

復興庁から5,059億円（申請額7,726億円）に上る復興交付金可能額が通知されました。

30日：マンスフィールド財団タスクフォース一行が知事を表敬訪問

米国とアジア各国のリーダー間のネットワーク作り、政策課題の研究、アジアの国々に関する人々の理解を深めることを目的に設立された米国のモーリーン&マイク・マンスフィールド財団が知事に表敬訪問しました。

土木部のトピックス

1日：弘川ダムの試験湛水式を開催 33

当ダムは10月にダム本体が完成し、試験湛水式を開催しました。また、弘川ダムのダム湖命名式が行われ、「田束湖」と決定されました。

3日：三陸沿岸道路（歌津～本吉間）起工式の開催 34

国土交通省東北地方整備局、本県及び気仙沼市は、三陸沿岸道路の（歌津～本吉間）起工式を開催しました。

3日：宮城県・気仙沼市合同津波総合防災訓練の実施

「津波防災の日（11月5日）」に合わせ、県、気仙沼市、防災関係機関及び地域住民が一体となって各種訓練を行い、地震・津波に対する防災体制の確立と防災意識の高揚等を図りました。

14日：気仙沼港商港岸壁災害復旧工事着工式を開催

式典では、来賓、関係者約100名の出席のもと、黙祷の後、主催者からの挨拶、復旧工事概要説明を行い、工事の安全と早期復旧を祈念し鍬入れを行いました。

16日：国土交通省国土地理院と「地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定」を締結 35

本県と国土交通省国土地理院が保有する地理空間情報の相互活用を促進するため、「地理空間情報の活用促進のための協力に関する協定」を締結しました。

19日：仙台空港とグアム国際空港との姉妹空港提携の覚書を締結 36

仙台空港及びグアム国際空港の友好関係の発展と、情報交換や文化交流等を通じた、本県及びグアム両地域の平和と繁栄を目指して覚書を締結しました。

20日：山元町「新山下駅周辺地区第一期（その2）」災害公営住宅の工事に着手 37

新山下駅周辺地区第一期分26戸の災害公営住宅建設に県として初めて着工しました。



33 湛水式の様子



34 着工式の様子



35 協定締結の様子



36 覚書締結の様子



37 災害公営住宅建設の完成イメージ

平成 24 年度

国・宮城県全体のトピックス

12 月

10 日：米国デラウェア州知事が姉妹県州締結 15 周年にあたり来県 38

本県との姉妹県州締結 15 周年を迎えた米国デラウェア州からジャック・マーケル知事夫妻が来県し、今後の友好関係強化に向けた取組を確認するため、共同宣言書を取り交わしました。



38 共同宣言書の調印式



39 締結式の様子



40 本県では初めてとなる行政代執行



41 協定式の様子

土木部のトピックス

1 日：仙台東部道路「仙台港インターチェンジ」供用開始 39

仙台東部道路は、常盤自動車道や三陸縦貫自動車と一体となって首都圏と東北地方を連結する重要な自動車専用道路であり、仙台港インターチェンジが供用開始されました。仙台東インターチェンジと仙台港北インターチェンジの間に位置し、東北唯一の国際拠点港湾である「仙台塩釜港」と直結する非常に重要なインターチェンジです。

4 日：土木部業務継続計画（BCP）改訂版の運用を開始

平成 22 年 6 月より運用している土木部 BCP について、東日本大震災の検証結果を受け改訂し、運用を開始しました。

11 日：沿岸市町長と知事とのまちづくり・住宅整備に関する意見交換を実施

沿岸市町のまちづくり・住宅整備に対する課題への対応策等を検討するため、知事が沿岸市町を訪問し、直接市町長等と、まちづくりや災害公営住宅整備について意見交換を行いました。

18 日：仙台三本木線「混内山道路整備事業」の行政代執行 40

本県では初めてとなる行政代執行が行われ、代執行権者から起業者へ土地が引き渡しされました。

19 日：一般社団法人宮城県空調衛生工事業協会と防災協定を締結 41

県、市町村が管理する施設の給排水及び空調設備等の被害状況調査及び応急対策について、一般社団法人宮城県空調衛生工事業協会と防災協定を締結しました。

20 日：仙塩浄化センター汚泥焼却施設の試運転を実施 42

汚泥焼却施設の復旧工事が終了し、試運転を開始しました。

26 日：被災市街地復興まちづくり勉強会を開催

被災市街地の早期復興を図るため、県内市町の各事業担当者を対象とした勉強会を開催しました。



42 仙塩浄化センター汚泥焼却施設の運転実施

平成24年度

国・宮城県全体のトピックス

1月

12日：安倍首相が県内視察を実施 43

安倍首相が総理就任後初めて本県を訪れ、石巻市で事業を再開した企業や、岩沼市の防災集団移転造成工事の現場、亘理町の仮設住宅団地などを視察しました。

15日：被災4県知事等による政府要望活動の実施 44

東日本大震災に対処する予算措置等を求めて、村井知事、達増岩手県知事、青森県・福島県副知事が安倍首相をはじめ、各省庁大臣等を訪問し、要望活動を実施しました。

29日：災害廃棄物処理業務（気仙沼ブロック（気仙沼処理区））安全祈願祭の開催

気仙沼ブロック（気仙沼処理区）の二次仮置き場（小泉地区）において、建設を進めていた焼却施設（焼却炉2基）が完成したことから、安全祈願祭を開催しました。これで、県受託処理による焼却炉26基全てが稼働しました。

29日：第4回東日本大震災復興交付金事業計画を提出

162事業、1,150億円に上る復興交付金事業を沿岸部15市町と内陸部5市町の計20市町（うち11市町は県と共同）で事業計画を復興庁（宮城復興局）へ提出。

29日：平成25年度政府予算案が閣議決定

本日開催された閣議において、平成25年度政府予算案が閣議決定されました。東日本大震災関係予算では、平成27年度までの復興財源フレームである19兆円が見直され、6兆円増額となり総額で25兆円になりました。



43 安倍首相の視察状況



44 政府要望の様子



45 塩竈市伊保石地区災害公営住宅のイメージ



46 知事挨拶の様子

土木部のトピックス

23日：大島架橋事業着工式を開催

気仙沼市 ニノ浜地区での道路改良工事及びトンネル本体工事の2工事を発注し、今後工事が本格的に稼働していくことから、工事着手の祝と事業中の安全及び早期完成を祈念して大島架橋事業着工式を開催しました。

25日：仙塩浄化センター汚泥焼却施設の汚泥燃焼を開始

汚泥焼却施設の復旧工事が当初計画より3ヶ月間短縮して完成し、正式に汚泥燃焼を開始しました。

26日：塩竈市伊保石地区災害公営住宅整備工事の安全祈願祭を開催 45

塩竈市の伊保石地区に計画されている災害公営住宅の基盤整備工事に着手したことから、工事安全祈願祭を開催しました。

27日：旧北上川河口部堤防護岸復興着工式を開催

国土交通省東北地方整備局が旧北上川河口部における本格的な堤防整備に先駆けて、川の水の逆流を防ぐための矢板護岸工事の着工式を執り行いました。

29日：岩沼海浜緑地着工式を開催

県内の都市公園のうち、津波災害により壊滅的な被害を受けた公園の災害復旧工事第1号として岩沼海浜緑地の工事に着手しました。

31日：～住宅・社会資本再生～東北復興フォーラム in 宮城を開催 46

東日本大震災の発生から2年を迎えるにあたり、宮城・東北の復興状況を内外に伝えるため、復興フォーラムを宮城県庁2階講堂で開催しました。当日は、聴講として470人以上の方にお越しいただきました。

平成 24 年度

国・宮城県全体のトピックス

2月

9日：安倍首相が県内視察を実施 47

復興庁発足から1年を翌日に控え、安倍首相は気仙沼市を訪れ、稼働を再開した気仙沼漁業協同組合の製氷工場を視察しました。

14日：村井知事が河野宮崎県知事を表敬訪問 48

被災地復興支援として宮崎県や宮崎県内自治体からの職員派遣などの様々な支援に対する感謝の意を伝えるため、村井知事が河野宮崎県知事を表敬訪問しました。

15日：仙台・宮城デスティネーションキャンペーン共同記者会見を開催 49

仙台・宮城デスティネーションキャンペーンの実施に向けた共同記者会見が開催され、概要が発表されました。県内では、平成20年以来5年ぶりの開催となります。

20日：レディー・ガガさんのメッセージ入りティーカップを県へ寄贈

歌手のレディー・ガガさんのメッセージ入りティーカップが県内在住の弓 哲玖（ゆみ あきひさ）さんから本県に寄贈されました。

土木部のトピックス

4日：第2回貞山運河再生・復興ビジョン検討座談会を開催 50

「貞山運河再生・復興ビジョン」の策定に向けて、第2回目となる学識者等による検討座談会を、一般に公開して開催しました。

座談会に先立ち、平成24年度知水講座として、貞山運河に詳しい学識者等3名による基調講演が行われました。

14日：南三陸町災害公営住宅整備事業着工式の開催 51

南三陸町として初めての災害公営住宅に着工するにあたり、着工式が開催されました。

14日：（主）気仙沼唐桑線「本町橋」が供用開始 52

平成14年に事業着手した本町橋架替事業「本町橋」が完成し、供用を開始しました。供用開始にあたり、本県と気仙沼市の共催により「本町橋開通式」が多くの来賓の方々により御列席を賜り盛大に開催されました。

26日：土木部業務継続計画（BCP）を改訂

平成22年6月から運用している「大規模地震発生時における土木部業務継続計画（BCP）」について、東日本大震災の対応を検証し、得られた教訓や反省を踏まえながら、より効果的及び効率的な行動ができるように見直しを行いました。



47 安倍首相の視察状況



48 表敬訪問の様子



49 仙台・宮城の共同記者会見



50 座談会の様子



51 着工式の様子



52 本町橋開通式の様子

平成24年度

国・宮城県全体のトピックス

3月

1日：「外国人県民のための防災ハンドブック」を発刊 53

県内に住む外国人が防災に関する意識を高め、災害に関する知識を身につけることで、災害時に自分自身や家族を守る行動をとることができるよう「防災に関するハンドブック」を発刊しました。

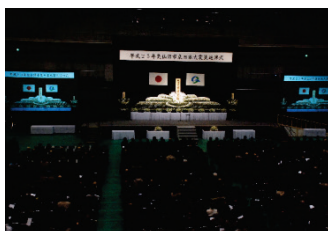
8日：復興交付金第5回交付可能額通知

復興庁から1,307億円（申請額1,150億円）に上る復興交付金可能額が通知されました。

11日：県内各地で東日本大震災二周年追悼式を開催 54

気仙沼市東日本大震災追悼式には大震災により亡くなられた方々の御遺族や知事など1,400人以上が参加しました。気仙沼高校吹奏楽部による献奏のあと、震災発生時刻の14時46分に黙とうが行われました。

また、県庁や大河原合同庁舎、大崎合同庁舎に献花台と記帳所が設置され、2,400名を超える方々が参加しました。

53 防災ハンドブック54 気仙沼市追悼式の様子55 ラッピングイメージ56 貫通式の様子57 東松島市の鳴瀬給食センター跡地の災害公営住宅の完成イメージ58 亶理町荒浜地区の災害公営住宅の完成イメージ

土木部のトピックス

1日：仙台・宮城デスティネーションキャンペーンのラッピング電車の運行開始 55

宮城県観光PRキャラクター「むすび丸」がラッピングされた仙台空港鉄道車輛の運行を開始しました。（～6月30日）

3日：第1回復興加速化会議を開催

国土交通省、復興庁、被災三県等、建設業界団体が出席し、施工確保対策について意見を交換しました。

3日：三陸沿岸道路志津川トンネル貫通式を開催 56

国土交通省東北地方整備局、本県及び南三陸町は、三陸沿岸道路の志津川トンネル貫通式を開催しました。

平成23年11月の着工式から1年4ヶ月という驚異的なスピードでの貫通により、三陸道全線の早期全線開通となりました。

9日：東松島市鳴瀬給食センター跡地地区の災害公営住宅工事に着手 57

東松島市の鳴瀬給食センター跡地の災害公営住宅（21戸、5階建て、共同住宅）に着手しました。

20日：亶理町荒浜地区の災害公営住宅に着手 58

亶理町の荒浜地区の災害公営住宅（100戸、5階建て、共同住宅）に着手しました。

21日：国際拠点港湾となる新「仙台塩釜港」発足記念シンポジウムを開催

三港統合により新たな段階を迎える国際拠点港湾仙台塩釜港について、行政、産業界、観光等様々な視点から講演いただき、宮城の港湾の将来展望について関係者の理解を深めました。

22日：県南浄化センター下水道災害復旧完工式を開催

津波で甚大な被害を受けた県南浄化センターの災害復旧工事が全て完成したのを記念して、完工式が開催されました。